

# 研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。

看護師の Rapid Response Team (RRT) 要請経験に関連する外的要因・内的要因：全国 Web 横断調査

## 1. 研究の対象および研究対象期間

本研究は、先行研究（課題名「看護師の RRT 要請に関する意識調査」（東京医療保健大学ヒトに関する研究倫理審査委員会 承認番号 P25-06A）にて、2025 年 7 月 31 日～2025 年 8 月 31 日の期間にアンケートに回答していただいた、RRT を導入している病院に勤務する看護師を対象とします。

## 2. 研究目的・方法

### 1 研究目的

看護師による RRT（院内迅速対応チーム）の要請経験に関連する「外的要因（組織・環境）」および「内的要因（個人の心理・態度）」を明らかにすることを目的とします。これにより、看護師が適切なタイミングで RRT を活用できる支援体制や教育プログラムの構築に向けた基礎的資料を得ます。

### 2) 研究方法

先行研究「看護師の RRT 要請に関する意識調査」で得られた「4. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載された項目を用いて本研究を実施します。

### 3) 分析方法

要請経験の有無を従属変数とした多重ロジスティック回帰分析を行い、各要因との関連性を検討します。

## 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで

#### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では用いる情報は、先行研究で収集した Web 質問紙への回答データ（計 44 項目）で、以下のカテゴリで構成されます。

- **個人属性（6 項目）**：看護師経験年数、役職、最終学歴、クリティカル領域での勤務経験、RRT メンバー経験の有無など。  
※「年齢」は多重共線性の検討により分析からは除外されますが、回答データとしては収集します
- **外的要因に関する情報（17 項目）**：施設規模（病床数）、所属部署、RRS/RRT 研修受講歴、要請基準の明示状況、部署内の連携や運用ルール、RRT の体制など。
- **内的要因に関する情報（21 項目）**：RRT への信頼感、判断の自信や不安、要請のタイミングの理解度、過去の成功・否定的な経験、担当医への遠慮など。
- **主要アウトカム**：過去 1 年以内における RRT 要請経験の有無

#### 5. 外部への試料・情報の提供

該当しません。

#### 6. 研究組織

研究責任者	研究機関名	昭和医科大学横浜市北部病院	浅利恭子
研究分担者		昭和医科大学	岩瀬万里子
		東京医療保健大学	西村礼子
		東京医療保健大学	稲垣晃子

#### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和医科大学横浜市北部病院                      氏 名： 浅利恭子  
住所： 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1                      電話番号： 045-949-7000